

かつて県道・結城野田線は、清水橋付近で東武野田線と交差していたため交通渋滞が深刻で、組合施行の清水公園駅東地区と七光台駅西地区の土地区画整理事業に併せて、県では立体交差化を進め、平成15年末に鉄道を高架化し、踏切を除去しました。

また、清水公園駅東地区約28ヘクタールは土地区画整理事業を実施して、16年3月に駅前広場が、また、19年3月の清水公園駅地下駅舎完成に併せて東口が開設され、駅の東西連絡地下通路や東口駅前広場が利用できるようになりました。



連絡通路を整備し駅東西間の移動が便利に



一方、都市計画道路の清水公園駅前線は、県道・結城野田線と都市計画道路・山崎吉春線を東西に結ぶ約千³⁹⁰メートルの幹線道路で、9年度から整備を開始。公園の景観に配慮して道路の一部を地下式にし、20年3月に清水郵便局前交差点から桜の里地区までが開通しました。

春風館道場は大正6（1917）



「武道の殿堂」として耐震改修
工事を実施(写真は改修前)

年創業の野田醤油株式会社（現キッコーマン株式会社）の本社社屋として使用され、昭和3年から
は社員の福利厚生施設の
武道場として利用されて
きました。

しかし近年、社内利用者数減少などで企業の一施設として継続することは難しく、一方で柔剣道の関係団体からは道場の存続を求める意見書が市に提出されま

市では、町並みを保存しつつ、武道振興の拠点として、またキャリアデザインの拠点施設としても活用するため、建物と整備費の一

郷土博物館・市民会館を
キャリアデザインの拠点に

部を同社から、また、同館の敷地を土地所有者の茂木國子氏から寄贈を受け、22年度の早期開設に向けて、今年度は建物の耐震補強や改修工事を実施しました。

今後は、かつてあった「弓道場」の整備も計画しており、武道の殿堂としての活用を目指しています。

市では、一人ひとりが質の高い生き方を実現するために、自分の人生を見つめ直し、自分らしい生き方を見いだして実践する「キャリアデザイン」のまちづくりを進めています。

平成19年4月から郷土博物館と市民会館をキャリアデザインの拠点施設として位置付け、さまざまなキャリアを持つ市民の講座や人材バンクを作成したり、自主調査研究グループの活動への支援、キャリアを中心とした企画展・特別展の開催、ガイドボランティアと連携した市内案内などの事業を積極的に展開しています。